

公共施設 更なる バリアフリー化を



三浦 善浩 議員
みつなり よしひろ

議員 栗原市も超高齢化時代にしっかりと備えていくべきである。①直近の市の人口と高齢化率は。②学校を除く公共施設の中で、2階建て以上の施設数は。③その中で、エレベーターが設置されているのは何力所か。また、設置率は。④計画的にエレベーターまたは、簡易昇降機（車椅子対応）を設置してはどうか。

市長 ①平成26年1月末現在の人口は、7万3507人、高齢化率は、33・4割。②合計で112施設。③21

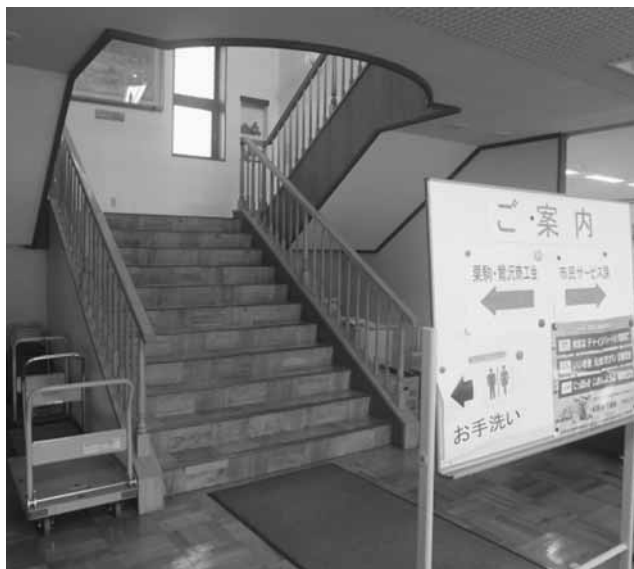
施設で、設置率は18・8割。④高齢者や障害者が施設を利用する際の利便性、安全性に資することを目的として、エレベーターの整備を図っている。平成21年度に東北新幹線くりこま高原駅平成26年度には栗原文化会館に設置し、金成延年閣には設置に向け実施設計を行い、平成27年度に設置することとしている。

**健康対策の
充実を**

議員 ①平成26年度、「コ

ル・リコール」制度で受診率の向上を目指すべきと考えるが、取組みは。②平成26年度の予防接種（特に水痘、成人用肺炎球菌）に対する取組みは。

市長 ①受診率向上を目指し、働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業（コール・リコールの実施が補助対象）と、女性特有のがん検診推進事業に継続して取組んでいく。②制度の内容を把握し、円滑に行えるよう医師会や医療機関と調整し、進めていく。



市内公共施設の階段

米政策転換 どうなる 農業所得



沼倉 猛 議員
めまくら たけし

議員 平成26年度からの米政策の転換で、市全体の収入で5年間は年間約6億5000万円の減、5年後からは約13億7000万円の減となり、農業を基幹産業としている市の経済に深刻な影響を及ぼす。国の言う飼料用米の作付けによる対策も、10アあたり11・5俵の収量がなければ最高額の10万5000円は支給されない。飼料用米の需要の見通しも不透明で、関連施設も未整備である。10アあたり5400円支払われる日

本型直接支払いは、事業を行った集落に支払われるものであり、農家個人の収入にはならない。米政策の見直しに対する市の対応は。

市長 国の試算の13割の所得増は集落を単位としたものであり、個人の所得を試算したものではない。県では現在、個人所得の試算を行っているので、検証し参考にしていく。

**介護保険
見直しの影響は**

議員 平成27年度からの介



守りたい中山間地の水田

護保険事業見直しでは、要支援1から2の人は国基準の予防介護の仕組みをはずし、一定の所得のある人のサービス利用料を1割から2割に、特別養護老人ホームの入所は要介護3以上とするなどが予定されている。保険料は払うが、利用できない市民が増えるのでは。

市長 将来を考えた上での転換だと思いが、要介護3以上は非常に厳しいと思う。経過措置を見て、必要があれば、国に対して改善を要請していく。

**旧栗駒小校舎
利活用に
芸術文化的
視点を!**



佐藤 範男 議員

議員 市立学校再編計画は、平成26年度から後期計画推進期間となる。閉校した学校の跡地施設の利活用が決定した旧学校数は何校か。また、市が所有する絵画などの美術品と、教育委員会が保管する民具類の数は。

市長 平成24年度末まで閉校した小学校は11校、中学校は2校の13校で、利活用が決定したのは旧宝来小と旧花山中の2か所である。次に、市所有の美術品の総数は、合併で引き継いだものの749点、新たに市に寄

贈されたものの39点の合計で788点である。また、教育委員会で保管する民具類は、全体で約4000点あり、今後、整理したい。

議員 旧栗駒小の校舎は創造性に富む設計で、特に玄関北側の大ホールの空間は魅力的で、2階の回廊式の通路と各部屋は、近代的なギャラリーをイメージさせ、校舎全体に貫かれた木造基調は、和やかで温かい雰囲気を出す。この校舎の利活用には、建物の特殊性や国道457号の観光客の

一服の清涼剤となるよう、芸術文化的な視点からの検討加えるべきと考えるが。

市長 栗駒小の利活用については、地域から観光や介護福祉事業の誘致の希望があり、事業者に特別養護老人ホームの利用可能な情報を提供したが、応募はなかった。現在、栗駒山麓ジオパーク構想において、ビクターセンターの設置を計画



大ホールが魅力的な旧栗駒小学校

している。この施設は、地質や地形に関する展示室、資料室、図書コーナーなどを設け、ジオパークの拠点施設とする。この候補地として、芸術文化的視点も加味し、他の学校施設を含め、今後、検討を加える。

**小型家電から
再資源化を
促進せよ**



みづか 三塚 議員

議員 携帯電話やデジタルカメラなどの小型家電や電子機器の普及に伴い、廃家電・電子機器類が「都市鉱山」として注目されている。そこで、公共施設やスーパーなどに回収ボックスを設置すべきでないか。回収した小型家電は、市内のリサイクル会社と契約を結び、希少金属を取り出す仕組みを構築し、再資源化を促進すべきでないか。

市長 現在、県内には昨年4月に施行された「小型家電リサイクル法」に基づく

「認定業者」はなく、小型家電を回収している市町村もないので、今後の動向を注視したい。

なお、国のアンケート調査に対して、市は「回収を実施する方針で検討している」と回答した。

議員 現在、市内のベンチャー企業が微生物を使って放射線量を低減する技術の研究を行っており、これまで、福島県や茨城県での効果が

**放射能の低減
実験に協力を**



「認定事業者」を目指す企業

実証されている。

市は、ベンチャー企業や研究機関から実験の申し出があった場合、実証実験に協力する考えはないか。

市長 市には8000tを超える稲わら、保管の全量928t。牧草3933tのうち46t。原木ほだ木4万8000本がある。

微生物による放射能の低減は、その研究成果や検証結果など、国において、まだ認証されていないことから、慎重な対応が必要であると考える。

浄化槽 推進事業への PFI導入の課題は



菅原 勇喜 議員

議員 ①PFI導入に至つた経緯と課題は②これまでの市内業者との関わりはどうなるのか③取り組んでいる他自治体の教訓はどう把握しているか。

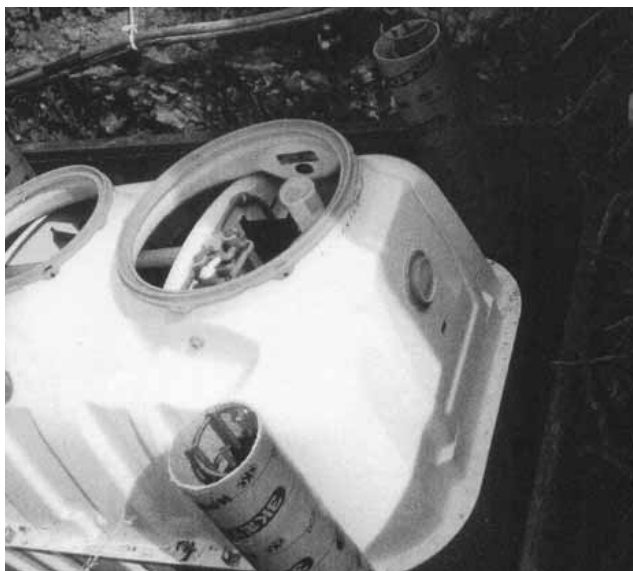
市長 ①年々増加する維持管理費や職員人件費の軽減を図るため、民間業者のノウハウによる住民サービスの向上や、事業コストの削減が期待されるPFI事業の導入を検討することとした。課題については、県内では前例がないことから、慎重に検討していかなければ

ならないと捉えている②登録業者48社、保守点検業者が7社あり、民間事業者が設立したSPC（特別目的会社）が事業を包括的に実施することになる。その他の業者は、SPCへ出資し構成員となるか、または協力企業として関わる事が可能③他自治体では、10年間の長期契約の中で整備目標基数を達成できず、SPCとのトラブルも発生している。事業開始当初は、SPCの営業力で設置基数が伸びる傾向にあるが、後

半では失速する傾向がある。PFI事業の導入により、市内関係企業の経営に大きな影響を及ぼしかねないことから、慎重に見極める必要があると考えている。

議員 市立3病院医師の充足率と常勤医師の招へいの見通しはどうか。

病院管理者 平成25年12月末時点で栗原中央病院163名、若柳病院97名、栗駒病院で107名となっている。総合医の招へいは非常に厳しくなっているが、引き続き努力していく。



施工中の合併処理浄化槽

土曜日も 市民バスの 運行を



佐藤 文男 議員

議員 昨年10月から全線で中高生の市民バス利用料金が片道100円の均一料金となった。経済的にも負担軽減となり利用者からたいへん歓迎されているが、路線によっては平日のみの運行もある。真坂岩ヶ崎線は一迫方面から岩ヶ崎高校に通学する高校生らに利用されているが、土・日・祝日は運休となっている。高校生からは、土曜日のせめて朝夕の便だけでも運行してほしいという要望もある。土曜日も運行し、望む子ども

もたちの通学環境を整えるべきと思うがどうか。

市長 今後、真坂岩ヶ崎線の休日の運行は学校などへの利用希望調査を行い、真坂岩ヶ崎線のみならず他の運行方法も検討する。

公用車の適正管理を

議員 車両本体や管理面での不備をなくし、公用車の事故防止を図る観点から、公用車の更新基準はどうなっているのか。また消防団の消防車両の更新と、車検時



バス利用の高校生

のタイヤの更新は適正にされているのか。

市長 取得後12年以上かつ走行距離15万キロ以上、軽自動車については取得後8年以上かつ走行距離10万キロ以上となっている。

また、老朽化が著しく修理などの維持費が多額になる車両は、基準に該当しなくとも更新としている。

消防団の積載車は20年以上経過したのから順次更新し、タイヤは総合支所からの要求を取りまとめ更新している。

請願・陳情の 提出方法

請願とは…

- ① 請願・陳情の名称
- ② 請願・陳情の趣旨、事項
- ③ 請願・陳情者の住所および氏名
- ④ 請願・陳情者の署名または記名押印
- ⑤ 提出年月日
- ⑥ 宛名
- ⑦ 紹介議員(請願の場合)

市民が議会に対して希望

議会に対し請願または陳情を行う場合は、次の要件を満たし、議会事務局に提出してください。

を述べることです。提出にあたっては、市議会議員の紹介が必要となります。請願書を受理した市議会

では、担当する委員会で慎重に審査し、本会議で採択された請願は、市長や関係する機関に送付されます。

陳情とは… 議会を通じ何らかの要望をするものです。陳情は紹介

議員を必要とせず、本会議において議員に配布され、それぞれの議員において調査、審査されます。

《表紙見本》

年 月 日

栗原市議会議長 ○○○○ 殿

○○○○に関する請願(陳情)

請願(陳情)者
住所 ○○○○
氏名 ○○○○

紹介議員 ○○○○
※陳情の場合、紹介議員は不要

《本文見本》

○○○○に関する請願(陳情)

一 請願(陳情)の趣旨
.....
.....
.....

二 請願(陳情)事項

1
2
3

上記、地方自治法第124条の規定により請願
します。

※ 陳情の場合、下線部は不要

市のエネルギー 自給計画は



瀬戸健治郎 議員

議員 全国の原子力発電所が運転を停止して以来、原油や天然ガスの輸入が増え続け、日本のお金がエネルギー輸出国へどんどん流出している。

市として小水力発電の取り組みや豊富にある森林資源、稲わらやもみ殻を有効活用すべきではないか。

また、鉄筋コンクリートの強度に匹敵する木材合板を公共施設の建設に積極的に使用し、木材産業を育成するとともに雇用の増大を図るべきではないか。

市長 これまでベレットストーブを公共施設に設置し普及推進を図るとともに、住宅用省エネルギー機器導入支援事業で上限8万円の補助を行ってきた。

再生可能エネルギーの必要性は十分に認識しているが、地域資源の特性などの検証を行う必要があることから、国の動向や他自治体の事例などの情報収集を行い、エネルギー自給に関する研究を行っていく。

また、木材産業を育成し、あわせて雇用の拡大も図っ



木質チップのバイオマス発電施設 (岩手県奥州市)

ていく。

伊豆沼・内沼周辺の整備状況は

議員 200万人観光には伊豆沼・内沼周辺の道路や橋梁、駐車場、棧橋の整備が必要ではないか。

市長 昨年の大雨で壊れた伊豆沼西側堤防の橋は、平成25年度中に応急補修し、道路は観光道として重要と考えているので、調査検討することから、内沼ハス祭り実行委員会と協議する。

高齢化社会に想う

教職を離れて二十数年になります。民生委員、人権擁護委員などを任命され、地域の方々の中で貴重な体験、勉強ができました。地域活動はその地域、例えば西町地区では、

公民館活動が中心の時代は分館活動と言っていました。自治会となっても地域の人数に変わりはなく、高齢者が多くなって係分担任も決めることもありました。役所や自治組織の係の方から何かの仕事や行事への呼びかけなどがまわってくると、動きがスローになることもあると思います。わが西町地区は人数も多いことから、このようなことは少ないですが、少人数・高齢化の地域では、悩みが多いのではないかと思います。

少子高齢化が進み、その地域での自助・共助が基本ですが、国・県・市の公助の役割が最も重要です。市と議会には住民目線で、医療・介護・福祉などの充実に期待します。



まつだ まさこ
松田 正子さん
(築館)

私もひとこと

清流への不安



みうら ひろまさ
三浦 昌博さん
(若柳)

私たちの町の真ん中に迫川が流れています。河川敷には木々が生い茂り、土砂の堆積で中洲が形成され、川の流れを阻害しています。この清流に不似合な光景として、洪水への不安をいつも感じています。ダムが造られ堤防の強化も進んでいます。昨年の京都を襲ったような集中豪雨に耐えきれぬ心配です。市内には多くの河川が流れ、こうした不安を抱える人々も少なくないと思います。

栗原の災害の歴史は、洪水被害の繰り返しでした。治山・治水は、住民の生命と財産を守るという行政の大切な役目の一つです。国、県そして市とその役割は違っても、ぜひ、川の流れを阻害するこれらの除去に、急いで着手してほしいと思います。

私たちが二度の大震災で得た自助・共助の教訓を忘れずに、地域の防災活動には率先して取り組んでいきます。

あじがき

1月20日、環境省は、指定廃棄物最終処分場の詳細調査候補地として、深山嶽を選定。当市が候補地に選定されるとは万に一つ想定しなかった。我々議員団は、冷静に受け止めるも、義憤は禁じえない。
まさに晴天の霹靂！
寒気の極みなり。

2月28日河北新報、「栗原市に新キャンパス整備、中央病院など委譲要請」の報道。仙台厚生病院と東北福祉大学が連携し、当市に医学部を新設するとの吉報である。もちろん、市長は全面協力との歓迎の意を表明した。我々議員団も、無論、大歓迎。

歓喜の極みなり。
カンキは歓喜だけではない。市民・市・議員団の絆、三位一体で邁進しよう。

広報編集調査特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐々木 脩 |
| 副委員長 | 佐藤 範男 |
| 委員 | 菅原 喜 |
| 委員 | 菅原 渉 |
| 委員 | 高橋 久 |
| 委員 | 菅原 久 |
| 委員 | 佐藤 昭 |
| 委員 | 佐藤 昭 |
| 委員 | 高橋 悟 |
| 委員 | 高橋 悟 |
| 委員 | 小野 久 |
| 議長 | 石川 正運 |